

# 「コピペすら不要。」

## 完全放置で稼ぐ自動運営AIブログツール

# Blog Auto AI

- ✔ キーワードを入れたら、あとは放置。
- ✔ 記事作成・画像生成・投稿まで全自動。
- ✔ 1日最大50記事を勝手に量産し続ける。

## ブログジャンルの見つけ方

### 【著作権について】

本レポートの著作権は著者に帰属します。無断での複製、転載、転売、無断使用など、著作権を侵害する行為は固くお断りします。個人での学習・参照目的の利用に限りご使用ください。

### はじめに

このレポートでは、Blog Auto AIを使ってブログ運営をスタートする際に、多くの初心者の方がつまずきやすい「ジャンル選び」について、わかりやすくお伝えしていきます。

「何をテーマにすればいいかわからない」「選び方を間違えたくない」という不安を感じている方も、ぜひ安心して読み進めてください。ポイントさえ押さえれば、ジャンル選びはそれほど難しくありません！

### 初心者がやりやすいジャンルとは？

まず大前提として、初心者の方がスムーズに始められるかどうかのカギは、「Blog Auto AIをデフォルト（初期設定）のまま使えるかどうか」にあります。

Blog Auto AIには、記事を自動生成するための「プロンプト」という設定があります。このプロンプトは、言わばAIへの指示書のようなものです。初心者のうちはこのプロンプトをカスタマイズする必要がなく、最初から入っているデフォルトのプロンプトをそのまま使えるジャンルを選ぶのが、一番スムーズなスタートになります。

では、デフォルトのプロンプトはどんな記事を作るのが得意なのでしょう？

Blog Auto AIのデフォルトプロンプトは、「一つのテーマについて深掘りして、詳しく丁寧に解説する」スタイルの記事生成が得意です。特定の商品をおすすめして購入してもらおうアフィリエイト記事よりも、さまざまなキーワードで検索してくれた読者を幅広く集めるのに向いた記事構成になっています。

つまり、デフォルトのままで運用するなら、アクセス数に応じて広告収益が発生する「Googleアドセンス」での収益化が最も相性が良い、ということになります。

## 「完全放置で稼ぐ」ために、ジャンル選びが重要な理由

Blog Auto AIの魅力のひとつは「完全放置で運用できる」ことですが、そのためにはジャンル選びがとても重要になってきます。

たとえば、芸能ニュースや最新トレンドのような、日々情報が変わるジャンルはどうでしょう。記事は自動生成できても、古い情報がそのまま残り続けてしまうため、定期的に記事を確認・修正する手間が発生してしまいます。これでは「放置」とは言えませんよね。

そこで重要になるのが、「普遍的な内容のジャンル」を選ぶことです。

普遍的とは、時間が経っても内容が変わらない、ということです。10年後も20年後も、記事の内容がそのまま通用するジャンルであれば、一度作った記事が長期間にわたってアクセスを集め続けてくれます。これこそが、真の意味での「完全放置」運用です。

実際に筆者がサンプルブログを作った際にテーマに選んだのが「ことわざ」です。ことわざは何百年も前から変わらず使われているもの。記事の内容が古くなる心配がまったくなく、まさに普遍的なジャンルの代表例です。

## 避けておきたいジャンル「YMYL」について

ジャンルを選ぶ際に、ぜひ知っておいてほしいのが「YMYL(ワイエムワイエル)」という考え方です。

YMYLとは「Your Money Your Life(あなたのお金・あなたの人生)」の略で、医療・健康、法律、金融・投資など、人の生活や安全に直接かかわるジャンルのことを指します。

Googleはこのようなジャンルに対して、特に厳しい品質基準を設けています。なぜなら、間違った情報が人の健康や生活に悪影響を与えるリスクがあるからです。

その結果、YMYLジャンルは検索での上位表示が非常に難しくなるだけでなく、Googleアドセンスの審査にも通りにくいという特徴があります。せっかくブログを作っても、アドセンスの審査が通らなければ収益化ができません。

初心者のうちは、YMYLジャンルには手を出さないのが賢明です。まずは安全に運用できるジャンルから始めて、慣れてきたら徐々に幅を広げていきましょう。

## 理想のジャンルを選ぶ3つの条件

これまでの内容を踏まえると、理想的なジャンルの条件は以下の3つにまとめられます。

**1つ目は、普遍的な内容であること。**

時間が経っても情報が古くならず、長期間アクセスを集め続けられるジャンルが理想です。

**2つ目は、ニッチで競合が少ないこと。**

どんなに良いテーマでも、強力なライバルサイトがひしめいては検索上位を取るのが難しくなります。大きなジャンルの中に隠れた「穴場テーマ」を見つけることが大切です。

**3つ目は、年間を通じて需要があること。**

夏だけ・冬だけに需要が集中するテーマよりも、一年中コンスタントに検索されるジャンルの方が、安定した収益につながります。

「ことわざ」はこの3条件に近いジャンルの一例ですが、メジャーなテーマだとすでに強いライバルサイトが多いのも事実です。大切なのは、自分でこの3条件に合う"穴場ジャンル"を発掘することです。

## ジャンル発掘法

「とはいえ、どうやってジャンルを見つければいいのか？」と思いますよね。

ここでおすすめしたいのを特定のジャンルを直接お伝えすることは、実はあまり良くありません。なぜかというと、全員が同じジャンルに集中してしまって、結果的に競合が増えて稼げづらくなってしまふからです。

だからこそ、自分でジャンルを発掘するスキルを持つことがとても大切なんです。

そこで筆者が実際に行っているのが、「本屋さんをじっくり歩き回る」という方法です。一見シンプルに聞こえますが、これが非常に効果的なんです。具体的なやり方を説明しますね。

## Step 1 | 大きめの書店に足を運ぶ

まず、できるだけ品揃えが豊富な大型書店に足を運びましょう。小さな書店では置いてある本の種類に限られるため、ジャンルのリサーチには不向きです。できれば複数フロアがあるような大型書店が理想的です。

## Step 2 | 棚を見ながら、気になるジャンルをメモしつつ、冊数を確認する

フロアを隅々まで歩きながら、棚に並んでいる本のテーマをじっくり観察します。「あ、こんなジャンルの本があるんだ」と気づいたら、それをメモしていきます。

このとき同時に確認してほしいのが、同じジャンルの本が何冊並んでいるか、という点です。

目安としては、同じジャンルに関する本が3冊以上出版されていれば、「そこそこ需要があるジャンル」と判断できます。

逆に、1~2冊しかなければ、ニッチすぎて読者の絶対数が少ない可能性があります。いくらアクセスを集めやすい記事を作っても、そもそも検索している人が少なければ収益にはつながりません。

本が3冊以上出版されているということは、出版社がビジネスとして成立すると判断したということです。つまり、「お金を払ってでも知りたい」と思っている人が一定数いる、という証拠になります。これはブログの読者需要にも直結します。

## まとめ

ジャンル選びで迷ったときは、ぜひ一度大型書店に足を運んでみてください。普段なんとなく眺めていた本棚が、ジャンル発掘のヒントの宝庫に見えてくるはずです。

改めて大切なポイントをまとめると、

- Blog Auto AIのデフォルトプロンプトはGoogleアドセンスとの相性が最も良いこと
- 完全放置で運用するには「普遍的なジャンル」を選ぶことが重要であること
- 医療・法律・金融などのYMYLジャンルは初心者のうちは避けること
- 理想のジャンルは「普遍的・ニッチ・年間需要あり」の3条件を満たすこと
- そしてジャンル発掘には大型書店で同じジャンルの本が3冊以上あるかを確認する方法が効果的であること

この5点です。

焦らず、じっくり自分だけの穴場ジャンルを見つけていきましょう！  
応援しています。